

# 会報

第134号  
(1998年1月)



関西ハーモニカ連盟

## 関西ハーモニカ連盟

### 会報 第134号

98年1月1日 発行

発行部数 300 毎年4, 7, 10, 1月に発行(送付はそれぞれ前月中下旬)

#### 関西ハーモニカ連盟

理事長 仲村 真 〒545 大阪市阿倍野区三明町2-6-10

☎06 624-5606 F A X も同じ

副理事長兼組織部長 上本 洋 〒631 奈良市富雄北3-21-5-301

☎0742 43-7738 F A X も同じ

副理事長兼編集局長 吉村 則次 〒591 堺市東浅香山町3-104-5-201

☎0722 51-9398 F A X も同じ

事務局長 田中 祥雄 〒610-11京都市西京区大原野上里鳥見町14-20

☎075 331-1033 F A X も同じ

指導部長 白鳥 達夫 〒577 東大阪市大連東2-9-12

☎06 728-7951

事業部長 飛田 保雄 〒611 宇治市広野町寺山17番地の79

☎0774 41-6568 F A X 0774 43-3789

技術部長 宇佐美 進 〒573 枚方市招提南町2-7-15

☎0720 57-2077 F A X も同じ

会計部長 後藤 貞男 〒596 岸和田市春木旭町36-17

☎0724 41-0552 F A X も同じ

常任顧問 酒井 涼爾、吉森 正隆、平口 謙二、小林 忠夫、板村 忠重

特別顧問 森本 恵夫、齋藤 寿孝、徳永 延生、和谷 泰扶

#### 入会のご案内

入会費1000円、年会費(1-12月)個人5000円、賛助会員10000円

ハーモニカに興味のあるかたなら住居地にかかわらずどなたでも入会できます。

住所、氏名、電話番号を次の住所へ送り、入会金と年会費を指定振替口座に振り込みください。

上本 洋(組織部長) 631 奈良市富雄北3-21-5-301

電話 0742 43-7738 F A X も同じ

郵便振替口座 00950-6-115527 加入者名 関西ハーモニカ連盟

年度途中入会の方には、当年度のバックナンバーをお送りします。

この会報は、当連盟会員のほか、現在、組織され活動しているハーモニカ各団体(連盟、協会、愛好会等)、著名演奏家及び関係各団体(新聞、放送等)にもお送りしております。

表紙写真	ハーモニカ・ファミリー・バンド	吉村 則次	
裏表紙	ハーモニカ	吉村 則次	
平成10年度定期総会招集通知(親睦編)		理事長(事務局)	3
<b>特集</b>	関西勢もがんばった世界ハーモニカフェスティバル(ドイツ・トロンゲン97/10/15-19)		
当連盟会員の活躍を祝う		理 事 長	4
当連盟会員木谷悦子氏が世界ハーモニカ大会優勝		編 集 局	5
世界ハーモニカ大会コンテスト結果		編 集 局	6
早く名前を呼ばれたくない審査発表		今井 康郎	7
飛行機雲の街で(世界ハーモニカフェスティバル・トロンゲン97に参加して)	大石 喜一郎		9
あのブレンダン・パワーも出席していた岩崎セミナー	吉村 則次		10
世界ハーモニカフェスティバル写真集		編 集 局	11
新聞に載った木谷悦子氏		編 集 局	13
マイクは楽器の一部――とっておきの話〔7〕	特別顧問 森本恵夫氏		14
ハーモニカ・カレンダー(行事の実績と今後の予定)		編 集 局	17
浜松の鈴木楽器工場見学及び懇親演奏旅行参加者募集案内		事業部長	20
写真ニュース『コンサート・コンサート』		編 集 局	21
最近のテレビに出たハーモニカ		編 集 局	23
ホノルルでハーモニカを吹こう――懇親演奏旅行案内	吉村 則次		24
盛会だった徳永ハーモニカ教室信州サマーツアー	徳永H教室		25
NHKテレビで伴奏しました	吉村 則次		26
大盛況だった関西ハーモニカポップス第22回定期演奏会	村上 浩一		27
関西ハーモニカポップス、学校や公共の広場でも活躍			
大阪市中央区役所及び橿原学院高等学校にて演奏	関西Hポップス		28
貸すな借りるなハーモニカ――入江章次さんへ――	トンボ楽器製作所		30
若い人に期待、堺市ハーモニカ講座、18名でスタート	吉村 則次		31
ハーモニカの音色は何色?	入江 章次		33
レターボックス――皆さんからのお便り――	編 集 局		34
新しいハーモニカCD等	吉村 則次		35
十河陽一の編曲が面白い――京都ハーモニカQのCD	吉村 則次		37
小さなオーケストラ、京都ハーモニカQがCDをリリース	編 集 局		38
第13回岡山ハーモニカクラブ定期演奏会を聴いて	よこ山けん一		38
京田辺市コンサート、小林忠夫先生、市民を魅了	保理江 元子		39
ハーモニカを感じさせないコンサート(京都クワルテット)	吉村 則次		40
繰り返すと想像――暗譜の方法	吉村 則次		41
遂に200名に到達、新入会員紹介等	組 織 部		42
関西Hポップス友の会第23回みんなのコンサートお知らせ	関西Hポップス		10

**同封物** (①②③は、会員あてのみ)

- ① 98年定期総会出欠回答はがき(付、新しい郵便番号の回答)
- ② 98年度年会費請求書
- ③ 郵便振替払込取扱票
- ④ 京都ハーモニカクワルテットCDチラシ

**4月号 予告**

98/1/15定期総会決議報告、98年度新役員一覧、98年度事業計画、等  
 原稿締め切り 2月15日  
 発行予定日 3月16日

## 連盟会員各位

## 関西ハーモニカ連盟

## 平成10年度 定期総会 招集通知

関西ハーモニカ連盟 理事長 仲村 眞

担当 事務局長 田中 祥雄

075 331-1033

次のとおり、当連盟平成10年度定期総会を開催しますから、ご出席ください。

## 1、日 時 平成10年1月15日 祭日 午後3時

(注) 同日午前11時から**理事会**を、また総会終了直後に役員選任のため再び**理事会**を開催します。理事のかたは必ず両方にご出席ください。  
また午後5時から**懇親会**を開催します。

2、場 所 大阪市西区江戸堀1-15-30 北京料理 徐園 地図のとおり  
電話 06 448-5263 最寄駅 地下鉄四つ橋線肥後橋

## 3、議 題

## 報告事項

平成9年度事業報告の件

## 決議事項

平成9年度収支決算の承認の件

理事選任、顧問等選任の件

平成10年度事業計画の件

平成10年度予算案承認の件

その他の決議事項



出欠を同封の回答はがきにより、1月5日(月曜日)までに必ずご回答ください。

(98/2/2から郵便番号が変わりますので、新しい7桁の郵便番号も必ずご記入ください。)

欠席の回答があったものは、上記決議を理事長に委任したものと見なします。

総会に引き続き、**懇親会**を次のとおり開催します。同じく回答はがきにより、出欠をご回答ください。懇親会では、演奏会も行いますので各自ご準備ください。

場 所 総会と同じ場所

開催時刻 総会及び理事会終了後 (午後5時ごろの予定)

懇親会の会費 6000円 当日徴収します。

**理事**のかたは、理事会の出欠も回答用紙によりご回答ください。

理事会は、理事以外の会員のかたも自由に傍聴できます。おいでください。

上記議題以外に総会、理事会に上程すべき議題がありましたら、事務局長(075 331-1033)へお知らせください。

以 上

## 当連盟会員の活躍を祝う (世界大会で優秀な成績を達成)

理事長 仲村 眞

この度、ドイツのハーモニカの故郷トロシingenで開催された世界ハーモニカ大会に、当連盟の会員7名が参加し、それぞれコンテストに出場され、優秀な成績をおさめて帰国されました。

詳細は、別途編集局からのお知らせのとおりであります。特に会員の本谷悦子氏(高槻市)及び会員の辻晋哉氏(大阪市東住吉区)の二人が、クロマチック・ジャズ部門で他国からの優秀な参加者を抑え、それぞれ優勝と2位に輝いたことは、非常にうれしいことでした。両人とも当連盟特別顧問の徳永延生氏の門下生であります。

また、クロマチック・クラシック部門では、ドイツ在住で神奈川県高座郡寒川町出身の竹内直子氏が優勝されましたが、このかたは当連盟特別顧問であるドイツ在住、京都市出身の和谷泰扶氏の生徒であります。

そのほか、当連盟副理事長である吉村則次氏がクロマチック・ジャズ部門で6位に入賞、常任理事である今井康郎氏及び同大石喜一郎氏のデュオが、自由部門で「VERY GOOD賞」(優秀賞)を獲得されました。

このように、我が関西ハーモニカ連盟の会員が世界の場で活躍されたこと、またそれぞれの入賞が当連盟の特別顧問としていろいろな面で連盟の活動をご指導をいただいている徳永延生氏及び和谷泰扶氏の力によるもの大きいこと、一方過去においても91年(デトロイト)常任顧問の吉森正隆氏が複音部門で優勝、会員である京都ハーモニカクワルテットが93年(ドイツ)95年(横浜)と連続優勝をしていることを考えると、当連盟は非常に優秀な人材に恵まれているものと、理事長としても非常に嬉しく思います。

会員全員とともに、このことを喜びお祝いするとともに、今後会員のかたが精励され、あとに続かれるように希望します。



97/11/10徳永延生ハーモニカ教室  
世界ハーモニカ大会上位入賞祝賀会

当連盟会員木谷悦子氏が優勝  
— 世界ハーモニカ大会コンテスト —  
クロマチックジャズ部門にて

編集局

97年10月15日から19日にわたってドイツのトロシingenにおいて開催された世界ハーモニカ連盟 (Federation Internationale de L'harmonica) 主催の世界ハーモニカ大会には、関西地区から7名が参加し、コンテストやライブ演奏やセミナー等に活躍した。

特にハーモニカコンテストのクロマチックハーモニカ・ジャズ部門において、高槻市の当連盟会員木谷悦子氏が堂々優勝した。また大阪市東住吉区の当連盟会員辻晋哉氏が2位、当連盟副理事長である吉村則次氏が6位に輝いた。同部門の出場者数は10名であり、3位はアメリカ、4位フランス、5位アメリカであった。日本からの同部門の出場者は4名であった。

なお、上記入賞者3名は、いずれも当連盟特別顧問であるプロ・ハーモニカ奏者の徳永延生氏の門下生である。

また、自由部門に参加した当連盟常任理事の今井康郎氏と同大石喜一郎氏のデュオも「VERY GOOD」賞を受賞した。

当連盟会員がこのように世界場で活躍したことは、91年のデトロイトの世界大会で当連盟常任顧問の吉森正隆氏が複音の部で優勝、また93年(ドイツ)及び95年(横浜)で京都ハーモニカクワルテットが連続優勝したのに引き続き、快挙であった。

一方、クロマチックハーモニカ・クラシック成人部門においては、ドイツ在住で神奈川県高座郡寒川町出身の竹内直子氏(トロシingen・コンセルバトワールで当連盟特別顧問の和谷泰扶氏のもとで勉強している)が、また複音ハーモニカ部門においては、横浜市の水野隆元氏がそれぞれ優勝した。

(成績一覧表及び今井康郎氏、大石喜一郎氏、吉村則次氏の関連記事並びに関連新聞記事写真ご参照)



3:50 3.50 3.50 3.50 3.50 3.50 3.50 3.50 3.50 3.50  
◇ 55ヨジキンTV  
紅葉の京都特選グルメ  
ガイド・高雄・貴船編  
▽高槻市職員ハーモニ  
カで世界一▽知らなき  
聴かす葬式Q&A▽  
現金クイズ 60661303

97/11/7 関西テレビ、坂東八方ヨジキンテレビ  
木谷悦子氏 11分にわたり出演



スイス、ヴァッサーローエンにて  
吉村則次氏

世界ハーモニカ大会コンテスト結果

編集局

ドイツのハーモニカの故郷トロシingenで、10月15日から19日までにわたり開催された世界ハーモニカ大会のコンテストの結果は、次のとおりでした。

(日本からの参加者が上位に入ったカテゴリーのみ掲載)

クロマチック・クラシック部門

優勝 竹内直子(神奈川県高座郡寒川町出身、ドイツ在住、当連盟特別顧問和谷泰扶氏の生徒)

2位 カトリン・ガス(ドイツ、当連盟特別顧問和谷泰扶氏の生徒)

3位 パク・チョン・ホー(ホンコン)

クロマチック・ジャズ部門

優勝 木谷悦子(当連盟会員、高槻市、当連盟特別顧問徳永延生氏の門下生)

2位 辻 晋哉(当連盟会員、東住吉区、当連盟特別顧問徳永延生氏の門下生)

3位 ダミエン・マスタソン(アメリカ)

複音・少年少女部門

優勝 桐生 美紀

2位 桐生 健

複音・成人部門

優勝 水野隆元(横浜市)

2位 柳川優子(厚木市)

3位 エン・チュン・リャン(台湾)

トリオ部門

優勝 トリオ・アニマート(ポーランド)

2位 H A P A トリオ(台湾)

3位 ザ・トリプル・ロックス(日本、神奈川県)

グループ部門

優勝 キングス・ハーモニカ・クインテット(ホンコン)

2位 厚木チェリーズ(厚木市)

3位 アザレア・クインテット(厚木市)



マリア・ヴォルフスパーガー  
トロシingenにて 今井 康郎 画



97/10/19 世界ハーモニカ大会表彰式会場で  
トロシingenの子供ハーモニカオーケストラ

## 早く名前を呼ばれたくない

### 世界ハーモニカコンテストの審査発表

今井 康郎

10月15日から19日まで4泊5日にわたって、ドイツのハーモニカの故郷トロシゲンで行われた世界ハーモニカフェスティバルに、吉村則次副理事長や大石喜一郎常任理事、会員である藤井寺市の永野富安氏夫妻、それに会員である若い木谷悦子氏、辻晋哉氏とともに7人で出席しました。

東京及び名古屋からの、岩崎重昭氏をリーダーとする40名を超す団体とは、シュベニンゲンというところのセントラル・ホテル及びトロシゲンの大会会場で一緒になり、いろいろ交流させていただきました。

また、どうせ行くのだからと、常任理事の大石喜一郎氏とも現地で落ち合い、デュオで自由部門のコンテストにまで参加しました。

旅行は、吉村則次氏の企画及び引率で、ドイツのミュンヘンの3泊で始まり、ウルムに1泊、大会終了後はスイスのシャフハウゼン、スタインアムライン、ザンクトガレン、最後にヴィンターツールというところで終わる、日本人にあまり知られていない田舎を回る13泊15日の長いもので、見たもの聞いたものについてもいろいろ書きたいことがありますが、今日は、同行した当連盟会員の木谷氏及び辻氏並びに吉村氏が素晴らしい成績を残した、そのコンテストの審査発表についてお知らせしたいと思います。それぞれの成績については、別の記事をご参照ください。

### 全員の成績が発表される 長い長いしんどい審査発表

最終日の19日曜日の10時から、審査発表と賞状の授与が行われました。まず、主催者の挨拶、それもドイツ語、英語、テランス語、オランダ語、日本語等、参加者の国の言葉で繰り返されたあと、審査発表となったわけですが、まず終わりの第9部門からコンテスト参加者全員がステージに上がられ、ビリから順に、ドイツ語及び英語で成績の点数(50点満点)が発表され、上位3位からは順位も発表されるという、残酷なものでした。全員をステージに上げて会場の参加者に顔見せし、祝福するという親心かも知れませんが、日本では例がない、一面残酷かつ疲れるものでした。

私が大石氏と出たのは第8部門でしたので、第8部門の発表からステージに上がられ、それから第1部門のクロマチック・クラシック・ソロの発表まで延々2時間弱も立たされました。

### 名前を呼ばれたくない審査発表

それぞれの部門毎に、最終の人から順に発表されるものですから、当然自分の名前は、後の方で呼ばれたいわけで、他の人の名前が読み上げられる毎に胸がドキドキし、「ああ自分でなくてよかった、ああよかった」と感じるものでした。

それも(50点満点の)20何点、30何点というように発表されました。同行した吉村氏、木谷氏、辻氏が参加した第2部門のクロマチック・ジャズ部門では参加者が10名



でしたので、8名の名前と成績が発表されたあと、木谷氏及び辻氏の名前が残ったので、これはいずれかが1位で、いずれかが2位というわけで、ステージ上にいた吉村氏（6位）が、飛び上がって喜んでいました。

しんどい、長い審査発表が終わって会場を出て来たときには、掲示板に、それらの人名と成績（点数、小数点以下2位まで）が部門別に発表されていました。

## 複音ハーモニカは日本と台湾の戦い

複音ハーモニカは第5部門で23名が参加、うち13名が日本人でした。台湾（3名）を始めフランス、ドイツ、アメリカ、韓国、マレーシアからも参加されていましたが、事実上日本と台湾以外は問題外とも言えるもので、1位から16位までが日本及び台湾で占められ、17位から23位までがその他の国の人でした。

1位が、チゴイネルワイゼンをピアノ伴奏で、通常バイオリンで演奏されるのと同じ速さで演奏した横浜市の若い水野隆元氏（同氏は、前回（93年）は藪谷幸男氏に引き続き2位、昨年10月に台北で行われたアジア大会では1位—会報97/4月号35ページ参照）、2位がリヒナーのジブシー・ダンスを演奏した厚木市の柳川優子氏、それから3位に台湾のYEN-CHUN LIANG氏という女の人が入りました。

なお、複音及びクロマチック・ジャズ部門以外の部門では、クロマチック・クラシック部門でドイツ在住で、当連盟特別顧問の和谷泰扶氏の元で勉強している、神奈川県寒川町出身の竹内直子氏が入りました。クロマチック・クラシック部門、クロマチック・ジャズ部門では、95年の横浜大会でも日本人が優勝しておりますので、複音部門とともにクロマチック部門でも、日本が優秀ということを世界に印象づけられたと思います。

なお、私と大石喜一郎氏が参加したデュオは、第8部門（ハーモニカが1本でも入っていれば、それ以外はどんな楽器との組み合わせでもよいという自由部門）で、VERY GOOD賞をいただきました。

## 複数の部門が同時進行で行われるコンテスト

事実上2日半でコンテストやセミナーや工場見学等のすべての行事が行われるので、それらが数箇所で開催で同時進行で行われます。したがって一人の人が見ることができるプログラムも限られました。

審査員も分散され、1部門につきだいたい2-3名で、複音部門は、いつも世界大会で審査員を務められている岩崎重昭氏と、オーストリアの音楽学校の校長のブヒンジャーの二人、クロマチックジャズ部門もアメリカのウインスロー・イェルクサという人と、ドイツのイェンス・ブンゲという人の二人のプレーヤーでした。

審査方法は、プログラムの中にドイツ語と英語で公表されており、それぞれの審査員が別個に、項目別（それぞれに1-15点を配点、合計点が最高50点になる）に審査し、それらが平均されるというもので、最終的には小数点以下2位の位までがついていました。

秘密裏に行われる審査とは異なり、ある意味では気持ちのいいものではありませんでした。



## 飛行機雲の街で

-世界ハーモニカフェスティバル トロシゲン'97に参加して-

'97.10 大石 喜一郎

10/15から19日までドイツ南部のトロシゲンで開催された世界ハーモニカフェスティバルに初めて参加した。フェスティバルの中心であるコンテストにおいては、過去に沢山の関西へ連年のメンバーが優秀な成績を収めてきたことは十分承知していたが、ハーモニカの故郷とも言われるこの町で開催されるのを好機として、コンテストに挑戦してみようと決心して選曲と編曲を終えたのは、今年の夏の始めだった。さすがに世界中から集まってきた競演者のレベルは高く、4ヶ月程の準備では不足が痛感されるばかりだったが、今後の挑戦目標がかなり具体的に見えてきたのが収穫であった。コンテストには世界の16の国・地域から158名の参加(登録基準で)があり、ドイツからの46名は当然として、日本からも30・アメリカが15・台湾=14・フランス=12・香港=10・・・という状況であった。開催された14部門の内9部門に参加した日本の成績は素晴らしいもので、3部門で優勝し、4部門では準優勝であった。特筆すべきは複音の独奏部門であり参加者23名中13人が日本からの出場であった。その成績も、3位の台湾を除いて8位まで日本人が連続して名を連ねたと聞いている。関東からの参加者を中心に「複音王国日本」を強く感じた。コンテストと平行して実施されたワークショップ(セミナー)で、複音の講師が岩崎先生であったのもむべなるかなと思っただけである。それにしても不可解であったのは、今回の部門分類(Categorize)の仕方であった。何の理由かは不明ながら、デュエット部門をオープン部門(Category 8)に組み込んでしまった結果、真面目な演奏も或いは派手なパフォーマンスで向こう受けをねらう大道芸も、ごちゃ混ぜの構成になってしまった。こんなことで公平な審査が出来るものかと、大いに疑問を感じたところであった。これは今後改善されるべき問題点として、指摘しておくたい。

トロシゲンはハーモニカの故郷といわれるように、世界最大と言われるハーモニカ工場があり、ハーモニカ博物館もハーモニカの学校もあると言うわけでもどこを見てもハーモニカの町であった。ハーモニカは小さな楽器である。これを構成する部品は工業的には極微と言っても過言ではない小さなものである。工場の見学ツアーに参加して驚いたのは、主たる製造工程は手作業によるものであり、テホルズだけが自動機械で生産されていたことであった。工業水準から見ればかなり低位に有るものと考えられたが、その理由が企業城下町たるトロシゲンの雇用政策への協力であると聞いて更に驚いた。工場に併設されている展示室(Studio)では興味深いものが数多くあった。特に新開発の楽器であるClavioreの音色に触れたことと、バグエル調律式のティンパニなどを見て、ホナ社の積極的経営姿勢を見る思いがした。

ハーモニカ博物館は、楽しい場所であった。展示されている資料はすべて一見の価値があったが、特に入口に設置されたプラスチックの中に入れてあった新旧様々なハーモニカは、まさに生きている歴史そのものであった。ここではハーモニカ関連の絵はがきや、特性のハーモニカ等が限定販売されていた。

私にとっては久しぶりのヨーロッパ旅行の機会であり、かねがね訪ねたいと思っていたブダペストとウィーンも旅程に組み込み、かつドナウ川の源泉であるドナウエッシンゲンも見て来るといふ駆け足旅行の後にたどり着いたこの町は、聞いていた以上に小さな田舎町であった。バスはおろかタクシーもないのは町の規模からして当然であったかも知れないが、地方鉄道駅から町の中心部への連絡支線さえも通勤時間帯以外は運休するから、車のない身にはまさに陸の孤島に等しかった。それだけに住民の人情は厚く、道を尋ねれば誰でも親切に教えてくれるし、家々の窓は綺麗に花で飾られていて滞在者に安心感を与える町であった。レストランで同席した「おっちゃん」もカタコトで打ち解けて話をしてくれるし、電車に乗り合わせた少年も「ハーモニカ大会に来たの・・・？」と問いかけてくる快い旅行でもあった。それよりも一番強い印象は、快晴のトロシゲンで見た飛行機雲であった。幾条もの飛行機雲が、いつ見ても青空のそこかしこに伸びていたのが心に焼き付いた。国際都市チューリッヒとシュツットガルトに挟まれているとはいえ、日本とは違う空の下に居ることを実感した数日間であった。



あのブレンダン・パワーも出席していた  
岩崎重昭氏の複音セミナー

吉村 則次

今回の世界ハーモニカ大会では、前回（1993年）に引き続き、岩崎重昭氏が複音ハーモニカのセミナーを2時間にわたり行われました。

岩崎重昭氏が言ったことを私（英語）と沢辺氏（東京から参加したツアーグループが現地で雇ったドイツ語通訳）が英語とドイツ語で通訳して説明するという、もどかしいものではありませんでしたが、ハーモニカの実技と模範演奏が含まれるので、他の講演等の通訳とは異なり、あまり言葉は必要ではないという楽な面もありました。

出席者は、日本人を除き10名あまりで、岩崎重昭氏及び補助を務められました名古屋の石川澄男氏、神奈川県的小林禎子氏の演奏、及び岩崎重昭氏の舌の使い方（ベース、分散和音、マンドリン奏法、バイオリン奏法等）と複数のハーモニカの扱いかたに感心しておられました。

びっくりし、また嬉しかったのは、出席者の中にあのブレンダン・パワー氏がおられたことでした。（岩崎重昭氏は、最後までそれに気がついておられなかった様子）

ブレンダン・パワー氏は、大会のガラ・コンサートのゲスト・プレーヤーでしたし、またその直後浜松のハーモニカコンサート実行委員会の招待で来日し、10月25日に浜松で演奏され、その後10月28日には大阪のダブリーナズ・アイリッシュパブで、また29日には神戸のダブリーナズ・アイリッシュパブで演奏もされたかたです。同氏も感心して聞き入っておられました。

セミナー終了後、私はブレンダン・パワーに「あなたもああいうこと（舌の動きによる演奏）をされるでしょう」と聞いたら、「とうていできません。ハワード・リービーならできますが。私は主にパッカーで吹いていますので。」とっておられました。



謹告

第23回みんなのハーモニカコンサート  
開催のお知らせ  
関西ハーモニカポップス友の会

事務局 大石 喜一郎 (0726 41-2087)

ハーモニカ愛好の皆さんに演奏機会を提供する目的で開催している「みんなのハーモニカコンサート」も第23回目になりました。  
今回も大阪府立文化情報センターで下記のように開催致します。  
多数の皆様にご来場いただきたく、ご案内申し上げます。

記

- 1、コンサート名 第23回みんなのハーモニカコンサート
- 2、会場 大阪府立文化情報センター  
大阪市北区中之島3-2-18（電話06 44-1011）  
〔地下鉄肥後橋駅下車 住友中之島ビル5F〕
- 3、日時 平成9年12月25日（木） 18：20開演  
ご注意：従来一部の方には12月19日（金）開催とお知らせ致しましたが、  
12月25日（木）に変更になりました。
- 4、入場料 無 料

# 世界ハーモニカフェスティバル ドイツ、トロシingen



クロマチック・クラシック  
優勝の竹内直子氏



複音部門優勝の  
水野隆元氏



クロマチック・ジャズ  
優勝の木谷悦子氏  
リック・エピングと共に



岩崎重昭氏（中央）及び  
マリア・ヴォルフスパーガー氏（その右）



ガラ・コンサートの  
ブレンダン・パワー（左）と  
リック・エピング（右）



ガラ・コンサートのブラジルの  
モーリチオ・アインホルン



ミス・ドイツが司会の  
ガラ・コンサート



授章式アトラクションの  
子供オーケストラ



世界ハーモニカ大会参加への途中 ドイツ、ウルムにて  
左から永野、永野、木谷、辻、今井、吉村の各氏



パーティで飛び入り演奏した  
辻晋哉氏と木谷悦子氏



レストランではありません  
リードをリードプレートに  
取り付けている工員  
皿に入っているのはリード

毎日新聞

北摂⑤⑥

1997年(平成9年)11月1日(土曜日)

ドイツでハーモニカ世界大会

4年の修練で頂点に

高槻の木谷さん

ハーモニカ奏者が世界一を競う「ワールドハーモニカ

カ・チャンピオンシップス」で、高槻市議会事務局職員の木谷悦子さん(35)がソロ・クロマチック・ジャズ部門で優勝し、31日、江村利雄市長に報告した。

大会はドイツ・トロシゲン市で10月15日から4日間開かれた。小さいころからピアノを習い音楽的素養のあった木谷さんは4年前、大阪市内の楽器店で光輝いていた「ハーモニカを

見かけ、その場で購入。プロのハーモニカ奏者、徳永延生さんの教室に通うようになった。

クロマチックハーモニカは16穴1列で、レバーの操作で半音下げすることも可能で、ジャズからクラシックまで広い分野の曲を奏でることができ、コンクールで木谷さんはチック・コリア作曲の「スペイン」を軽快なノリで演奏。聴衆から

絶賛の拍手を浴び、アメリカのプロ奏者も退けて初優勝した。

訪問を受けた江村市長は「ファンの一人として大変うれしい」と笑顔で優勝をたたえた。木谷さんは「私が演者(11人)の中でただ一人の女性だったせいもあるのかな」と謙遜しながらも「気分良く演奏できたのがよかったのかも。でもこれからは『世界一』の看板を背負わねばならず、少ししんどい。プロになる気はないが、CDを出してみたい」と今後の夢を語った。



クロマチックハーモニカで世界一になった木谷悦子さん



享月 日 新 聞

25 大阪 堺泉州 1997年(平成9年)11月2日 日曜日

ハーモニカ国際大会

高槻市職員が優勝

木谷さん、市長に報告

ドイツで開かれた国際ハーモニカ・フェスティバルで、高槻市奥天神町一丁目、同市議会事務局職員の木谷悦子さん(35)が、ソロ・クロマチック・ジャズ部門の選手権で初優勝して帰国、三十一日、江村利雄市長らに報告した。

木谷さんは四年前からハーモニカを本格的に始め、城東区に住むプロ奏者徳永延生さんの指導を受けてきた。二年前に横浜市であつた。

国際大会は、国際ハーモニカ機構の主催で二年に一回開催される。クロマチックは、本体横のレバーを押すと半音階の音が出せるハーモニカ。優勝の記念に贈られた金色の

ハーモニカを手に、木谷さんは「クロマチックは複雑な音が出せ、どんな曲でも演奏できる。その魅力をこれから多くの人に伝えていきたい」と話した。



ハーモニカの国際大会で優勝した木谷悦子さん



## マイクは楽器の一部です とっておきの話 [ 7 ]

関西ハーモニカ連盟 特別顧問  
森本 恵夫

今どき、生（なま）が良いとおっしゃる方がいらっしゃいますが、理解に苦しみます。  
いいえ、ビールの話ではありません。

### 第 話

このたびの世界ハーモニカ大会では、別項のように日本勢は優秀な成績を収めました。コンクール全16部門のうち、第8部門に「無差別グループ」という、カテゴリーがあり、通常のソロや小編成のアンサンブル以外の自由なスタイルの演奏での競技部門とする新しい試みである。

わが国の二重奏での参加者は、この部類に属してしまったので、いろいろ趣向をこらした演奏の中に入っただけのハーモニカだけの二重奏というのは、いかにも地味で、どう考えても分が悪いのは当然で、どうしたものだろうと思っているうちに順番が来てしまった。

さて、名前が呼ばれ、演奏が始まろうとした直前、突然長身の日本人男性が現れ、少し離れ目にセッティングされていた2本のマイクを、二人の演奏者の口元にピタッとセットした。

演奏が始まると、どうだろう。貧弱を予想されたいたデュオの演奏は、朗々と、こまかいテクニック、表現まで明解に会場に鳴り響き、大きな拍手がわいた。

審査結果は、その二重奏組が堂々「エクセレント」を勝ちとったのである。

さき程とび出して、適切なマイクセッティングをした紳士は誰だろう、今回「口琴芸術」誌の取材で同行された甘利一郎氏だったのだ。

ハンディのあるデュオに、「エクセレント」をもたらしたのは、甘利氏の機敏なマイクセッティングによるものと言っても過言ではない。このちょっとした行動ではあるが、実はなかなか勇気があるものだ。甘利氏の勇気が無かったらデュオの評価がもっと低かったのに違いない。

マイクの効果を目のあたりにした一日だった。

### 第 話

世界大会第一日目のガラコンサートは、クロマチック・ハイライトと題して、世界第一級のソロプレーヤーの出演である。

期待の我が和谷泰扶氏がタキシード姿でさっそうと登場、弦楽四重奏をバックに美しい組曲を奏でた。完璧なテクニック、絶妙のバランス、共に最高の出来ばえであった。

続いて2曲目は、イギリスのベテラン、ジム・ヒューゲスとの弦楽バックのデュオである。おやっハーモニカの音が急に貧弱になって、弦の響きが目立つ。どうしたことだろうと目をすえてステージを見ると、ソロのときの和谷氏は、マイクとの距離が20~30cm位だったのが、二重奏になったとたん、二人はマイクからの距離が1m位で吹いている。これでは弦楽とのバランスがとれなかったのは当然、明らかにマイクの位置を無視した結果の失敗であった。

## 第 三 話

東京での話である。過日崎元教室の発表会があった。今年は生徒数も増えて、次々とソロが続く。皆ミストーンが少なく、一音一音が磨かれて、見違えるように腕前を上げているのに驚かされた。

最前列で聞いていると、ノーマイクなのにピアノとのバランスもよく、ハーモニカの音がよく通り、このホールはすごく音響効果が良いなと感心しながら、途中で席を後方に移して聞いてみた。

するとどうだろう。今まで結構良いバランスで聞こえていたハーモニカの音が、とたんに蚊の鳴くような貧弱な音になり、低音部などピアノに消され殆ど聞こえない。

どうしたことだろう。これは距離が大きくなると、ハーモニカの音は急速に減衰してか細い音になってしまうのに反して、ピアノの音は殆ど距離の影響を受けないのである。

その原因は何か、これは音源の持つエネルギーの違いなのである。

つまりピアノから出る音は、あの大きなボディ全体に共鳴した音が、会場全体の空気を震わし、すみずみまで平均に伝わってくるのである。それに比較してハーモニカは、あの小さいリードの振動から出てくる音が空気を伝わるのであって（カパーの共鳴も少しはあるが）、その音源のエネルギーの差は正に横綱と赤子位の違いがあり、とても同じ土俵で相撲をとること自体無理な話なのである。その上、音の伝播は距離の二乗に反比例するので、吹いている本人は自分の音は結構響いているように感じているのであろうが、客席の状況は全然違うということに気が付かなければならない。

さて、そこでマイクが必要になってくる。

マイクを使うと言っても、ロックバンドのよくやるように、ステージの両そでに大きなスピーカーを積み重ねて大音響を出すのではなく、会場内に設置した小型のスピーカーを通して平均した音を流すのが望ましい。

つまりハーモニカの音がいかに魅力的であっても、伴奏楽器の音に消されたり、蚊の鳴くような貧弱な音では大きな感動を呼ぶことは出来ないのである。

いや自分の演奏は十分感動を呼んでいる、と思っておられるかも知れないが、マイクを効果的に使った場合は、その感動はもっともっと大きいものになることは疑いない。

それともう一つ、マイク否定論者の中には、電氣的に加工された音は、既に芸術的ではないという考えにこだわっている方もあるが、電気だろうと空気だろうと、楽器だろうと、すべて原子・分子の集合体であり、それ等をミックスして音の芸術が生まれるのであるから、マイクだけを否定するのはおかしい。

それからマイクを使うときは、軽くリバーブをかけるとハーモニカの音は一層魅力を増す。これも生（なま）論者から反論を受けそうだが、そのような方に申し上げたい。

女性のうす化粧はいけませんか？

料理に調味料を使ってはいけませんか？

勿論素材を大切にした上での話ですが。

## 第 四 話

世界大会の最終日、夜のコンサートはフレンド・フォー・フレンドという各国交流のコンサートであった。

ジャパントイム 25 分間で、私もあのコンサート・ホールで 1 曲吹くチャンスに恵まれ、複音で得意の「禁じられた遊び」を吹き、吉村編集局長よりもご好評をいただいた。

引き下がって来たそで、司会者がそっとささやいてくれた。「君のマイクの使い方はとても上手で効果的だったよ」と。



演奏よりもマイクの使い方をほめられたのは、何かくすぐったい想い出となった。

「我田引水」となったところで、この項を終わりたいが、今回もいろいろ異論反論がありそうです。どうぞ編集局までお寄せ下さい。ただし、あげ足をとるような反論ではなく、前向きな議論でお願いしたいと思います。

-----○-----○-----

### 〔補 追〕

- 1、携帯アンプを使うとき、スピーカーは必ずマイクより前面にセットしましょう。（ハウリング防止のため）
- 2、譜面台またはハーモニカ置台を使うときは、マイクスタンドはブームスタンドにする  
とよいでしょう。
- 3、マイクとの距離は20cm位に近づき、直正面から吹くようにしましょう。
- 4、てれくさそうに、やたらにマイクに手を触れるのは厳禁です。

### 【森本語録】

マイクの上手な活用は演奏効果を倍増し、活用しなければ半減する。

FINE



## ==ハーモニカカレンダー==

- 8/4 月 9pm 毎日テレビ 月曜ドラマスペシャル「螢の宿」でハーモニカ演奏  
劇中、遊女と恋する軍人の中のストーリーで、ハーモニカが効果的に使われていた。  
軍人が遊女のそばでハーモニカを吹いてあげるシーン、軍人が戦地に行く（特攻隊）  
とき遊女にそのハーモニカを与えるシーン、遊女が死んで、その手にハーモニカを  
持たせるシーン、死んだ遊女に遊女屋の娘がハーモニカを吹いてあげるシーン等、  
ハーモニカが重要な役割を果たしていました。写真参照。また「ハーモニカの指導」  
は内田義三指導とクレジットが出ていました。（横浜市の人です。）
- 8/15-8/17 徳永延生ハーモニカツァー・セミナー 長野県峰の原高原  
22名が参加した。別記事及び写真参照
- 8/18 月 NHK-TV「あぐり」で、再びハーモニカの演奏シーンがあった。  
指導及び演奏は、東京の池田輝樹氏であった。写真参照
- 8/23 土 NHK-BS-TV メンフィス・ブルース・フェスティバル  
ハーモニカ奏者では、ジェームス・コットン等が出演していました。写真参照
- 8/24 日 ハーモニクス大阪コンサート 交野市ゆうゆうセンター  
別記事（97/10月号追加版に掲載済み）及び写真参照。540のホールが一杯でした。
- 9/1から月末まで 有線放送でハーモニカ専門チャンネル
- 9/4 木 関西ハーモニカポップス大阪府中央区役所ランチタイムコンサート
- 9/6 土 京都ハーモニカクワルテット公文式野洲祇王教室20周年記念  
コンサート、滋賀県野洲町さざなみホール
- 9/11木 関西ハーモニカポップス 榎原学院高等学校 文化祭に出演
- 9/15 祭 NHK-TV「ホリディ日本」敬老の日特集番組で  
「17人のハーモニー」と題して、35年ぶりに復活した平均年齢68歳の札幌  
ハーモニカアンサンブルが紹介された。放送時間約5分あまり。写真参照
- 9/20 土 小林 忠夫と京都ハーモニカアンサンブル、ロビーコンサート  
神戸市コープこうべ生活文化センター、ワイン付きであった。写真参照
- 9/27 土 京都ハーモニカクワルテット、ソロコンサート 島根県安来市
- 9/28 日 ハーモニクス大阪コンサート 交野市星誕音楽堂
- 9/28 日 徳永延生 ゲスト出演 97関西国際歌謡選手権奈良大会  
奈良県文化会館国際ホール
- 10/3 金 上本洋 関西テレビ「痛快！エブリディ」にてキダ・タロー指揮のアン  
サンブルで演奏した。写真参照
- 10/6 月 ハーモニカ祭り開催のための連盟常任理事会を開催した。  
また98年度の会場を早く予約する必要があるので、ハモ祭り、コンテストの時  
期及び会場の候補を決定した。
- 10/15-19 世界ハーモニカフェスティバル ドイツ トロシゲン  
ツアーに加わらずに参加したものを含め、東京から40数名、関西地区から  
7名、その他4名合計50数名が参加された。  
連盟会員木谷悦子氏及び辻晋哉氏がクロマチックジャズ部門で優勝及び2位に輝  
いた。別記事及び写真参照
- 10/24 和谷泰扶、びっくりスーパーコンサート、バッハからピアソラまで  
高槻現代劇場、共演 ギター福田進一、ヴァイオリン松原勝也
- 10/24 金 徳永延生 楽しいハーモニカと唄、秋のコンサート  
主催「おかあさんチョット・・・」天王寺編集室  
フェイセス・月華殿（天王寺区寺田町）バックは堂迫康雄（p）ほか

- 10/25 土 浜松ハーモニカフェスティバル、浜松アクトシティ  
イギリス在住のニュージーランド人のブレンダン・パワー（テンホール及びクロ  
マチック）、松田幸一等、豪華メンバーが出演。  
関西からは、このコンサートに京都ハーモニカクワルテットとハーモニクス大阪  
が出演した。
- 10/26 日 15:00 日本ハーモニカ芸術協会定期演奏会 東京銀座ヤマハホール  
ドイツの世界大会の入賞者が演奏された。またハーモニクス大阪も演奏した。
- 10/28 火 ブレンダン・パワー ダブリナーズ・アイリッシュパブ大阪で演奏
- 10/29 水 ブレンダン・パワー ダブリナーズ・アイリッシュパブ神戸で演奏
- 10/31 金 堺市教育文化センター、ハーモニカ講座開講 18名  
講師 副理事長 吉村則次 申し込み者は100名近かったとのこと。別記事参照。
- 11/2 日 京都ハーモニカクワルテット、京都市立宕陰小学校コンサート
- 11/3 祭 3pm 徳永延生 楽しい秋のハーモニカコンサート  
岸和田市マドカホール（文化会館）97文化祭祝典記念事業
- 11/7 金 木谷悦子、関西テレビCh8「坂東八方ヨジキンTV」に出演、演奏
- 11/8 土 2pm 関西ハーモニカポップス第22回定期演奏会  
朝日生命ホール、ゲストに若くて可愛い中国人歌手  
凌（りん）さんを入れて、華やかな雰囲気であった。  
会場は補助席を入れるほど満員であった。写真参照
- 11/9 日 京都ハーモニカクワルテット  
「夢の翼・・・風とともに」コンサート  
京都府加茂町文化センターあじさいホール
- 11/9 日 ハーモニクス大阪 演奏会  
枚方市牧野公民館
- 11/9 日 京田辺市ハーモニカコンサート  
京田辺市北部住民センター  
10月に開腹手術をされたばかりの常任顧問小林忠夫氏  
が、回復されて元気に演奏された。写真参照  
宇治ハーモニカトリオも演奏。
- 11/16 日 京都ハーモニカクワルテット  
5周年記念コンサート  
音楽の友ホール（新大阪）
- 11/21（金）ー24（振替休日）  
ブレンダン・パワー  
10/25-10/29に来日し、浜松、東京、大阪、神戸で演奏したイギリスのクロマチック  
及びテンホールズの奏者ブレンダン・パワーが、ポール・モーリア楽団のゲスト  
プレーヤーとして再び来日、大阪フェスティバルホール(10/21-23)及び京都  
会館(10/24)で演奏された。事前にお知らせできなかったこと残念。
- 11/22 土 京都ハーモニカクワルテット 5周年記念コンサート  
京都、青山音楽記念館（バロックザール）
- 11/23 日 徳永ハーモニカ教室発表会と徳永延生ライブ  
心斎橋国際楽器社ホール、昼は教室の生徒36名が、また夜は徳永延生氏が、そ  
れぞれピアノトリオをバックに演奏した。
- 11/25 火 午前10:30 あらいなおこ ハーモニカこはるびコンサート  
豊中市アクア文化ホール
- 11/29 土 徳永延生ハーモニカコンサート、枚方市牧野公民館
- 11/30 日 関西ハーモニカ連盟ハーモニカ祭り 兵庫県民会館9階ホール  
60組（人）、307名、延べ409人が出演した。詳細は次号
- 12/8 月 定期総会開催準備のため、常任理事会を開催した。



97/11/8 関西ハーモニカポップス  
左から、入江、凌（りん）、吉森の各氏

- 12/14 日 14:15 NHK-総合TV 「どんとこい民謡」にハーモニカ伴奏  
出演 辻晋哉氏(バスとクロマチック)及び吉村則次氏(コード)  
「正月とん今頃どこに」(此花区伝法)と「竹田の子守唄」(京都)の伴奏に  
ハーモニカが使われた。

### これからの予定

- 12/25 木 18:20関西ハーモニカポップス友の会みんなのハーモニカコンサート  
大阪府立文化情報センター多目的ホール 問、大石 0726 41-2087  
一部12/19(金)としてお知らせしましたがこれは間違いで、  
12/25木です。  
97/1/15 祭 連盟理事会、定期総会、懇親会 肥後橋北京料理徐園にて  
本誌p3の招集通知参照

### 1998年の予定

カレンダーにマークしておいてください。

**浜松**ハーモニカ工場見学と同地愛好者との演奏懇親ツアー

3月17日(火曜日)~18日(水曜日) 募集案内p20ご参照

**マレーシア**第2回アジア・パシフィック・ハーモニカ大会参加旅行

7月31日(金)~8月2日(日)。具体的内容、旅程、費用等、決まっておりますが、ご参加を考えておられるかたは、早めに事業部長飛田0774 41-6568にお知らせください。

**ホノルル**懇親演奏旅行

秋の予定。ご参加を考えておられるかたは、副理事長吉村則次(電話及びFAX 0722 51-9398)あて早めにお知らせください。詳細p24ご参照

第2回西日本ハーモニカコンテスト(9月の日曜日、大阪府内の予定)

4月号会報で参加者募集

**ハーモニカ祭り**(10月25日守口市 エナジーホール

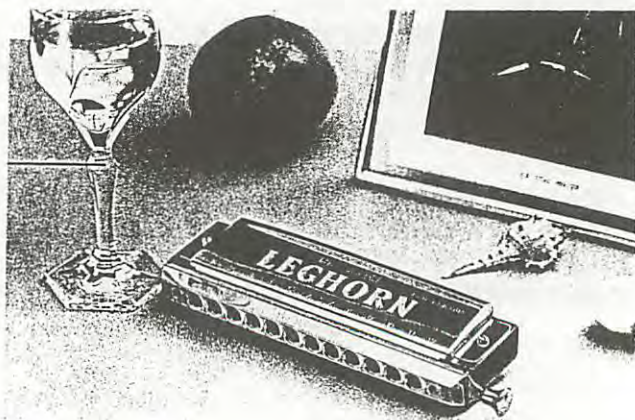
電話06 992-1276、京阪守口駅歩3分、地下鉄守口駅歩10分)

7月号会報で出場者募集

### 研修会等

詳細は決定次第、会報にてお知らせします。

なお、日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会からの連絡によると、同連合会主催の例年のコンサートが、**6月20日土曜日**、**尼崎市のアルカイックホール・オクト**で行われる予定とのことです。併せ参加をご計画ください。



# 浜松の鈴木楽器工場見学と懇親会 参加者募集

事業部長

- 内容 浜松市楽器博物館（駅前）、浜松の鈴木楽器の工場見学  
鈴木楽器の関係者との懇談と質疑応答  
浜松のハーモニカ愛好者との交歓、懇親会、演奏会、観光
- 実施日 98年3月17日（火曜日）～18日（水曜日）
- 集合場所と時刻 浜松駅前アクトシティ内浜松楽器博物館前 3/17午前10時20分  
スケジュール（詳細確定次第、参加者にお知らせします。概要次のとおり）
- 17日（火） 0811新神戸発 0826新大阪発 京都0844発 1002浜松着 ひかり80号2号車自由席  
午前、浜松楽器博物館（アクトシティ内）見学、昼食  
午後、工場（駅から車10分）見学、鈴木関係者との懇談、浜松の愛好者との交歓  
夕方、鈴木楽器の研修所（駅からバス1時間）で、懇親会と演奏会、宿泊  
宿泊場所の名称、住所と電話番号  
浜名湖研修センター 431-04静岡県湖西市横山177-5 053 578-2101
- 18日（水） 午前 セミナー又はディスカッション  
午後 浜名湖周辺の観光1-2カ所  
夕方4時頃浜松または豊橋発、午後7時頃大阪着
- 費用 新幹線往復（チケット屋で）大阪～浜松往復15300円前後  
正規料金は新大阪から片道8200円、新神戸から片道9450円（高い）になる。  
乗車券は各自購入し乗車ください。  
研修所宿泊費、懇親会（料理・飲み物等の追加）マイクロバス代、雑費等含め  
約20000円  
合計（新大阪発の場合） 35300円前後
- 先方ご担当 ハーモニカ振興会（鈴木音楽産業）御室（ミムロ）氏
- 申込方法 1人当たり20000円を連盟の郵便振替口座に1月15日までに振り込みください。  
郵便振替口座番号 00950-6-115527 関西ハーモニカ連盟  
通信欄に「浜松旅行費用」と記入し、  
2名以上参加の場合は、全参加者の住所と氏名をお書きください。  
新幹線チケットは各自購入してください。現地集合とします。
- 募集人員 25名（研修所の宿泊人数限度）  
家族、友人、ハーモニカ教室生徒さんもOK  
ただし申し込みが25名を超えれば連盟会員を優先とします。
- 担当 事業部長 飛田 保雄 0774 41-6568 FAX 0774 43-3789
- その他 ①参加者が確定しましたら、氏名、スケジュールを事前にお知らせします。  
②初日夕方懇親演奏会を行いますから、各自演奏準備してください。  
アンサンブル大歓迎  
伴奏を使われるかたは、それぞれテレコ、MD等準備ください。  
スピーカーは先方で借りることができる予定です。

## コンサート、コンサート、コンサート



97/8/24 ハーモニクス大阪コンサート  
交野市ゆうゆうセンターにて



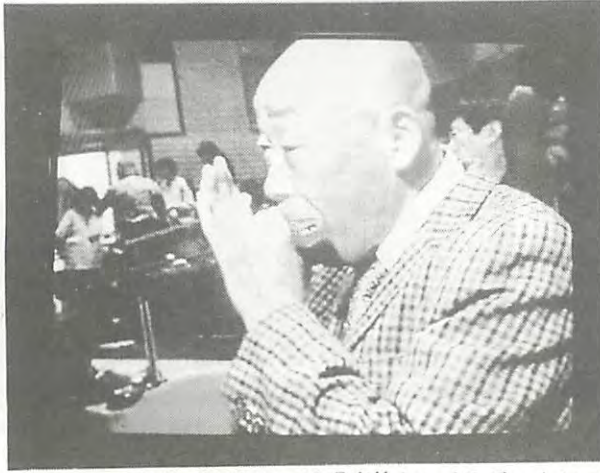
97/9/28 徳永延生 関西国際歌謡選手権にてゲスト演奏  
奈良県文化会館国際ホール



97/9/20 小林忠夫と京都ハーモニカアンサンブル  
ロビー・コンサート、コープこうべにて



関西ハーモニカポップス、定期演奏会に向けて猛練習



97/10/3 上本洋 関西テレビ「痛快!エブリディ」にて  
キダ・タロー指揮のアンサンブルにて演奏



97/11/9 京田辺市北部住民センター  
京田辺市ハーモニカコンサートにて  
小林 忠夫 氏



関西ハーモニカポップス定期演奏会  
97/11/8 大阪朝日生命ホール



ブレンダン・パワー  
97/10/28 アイリッシュ・パブ  
ダブリーナズ・大阪にて



ブレンダン・パワー・ライブ  
97/10/28 アイリッシュ・パブ・ダブリーナズにて  
左から、永野、ブレンダン・パワー、吉村、今井、大石の各氏

# 最近のテレビに出たハーモニカ

00 月曜ドラマスペシャル

向田邦子終戦特別企画  
「螢の宿・私は明日死  
にます!母は泣いた一  
空に消える特攻兵を送  
り出す女たちのそれぞ  
れの夏」山元清多脚本  
久世光彦演出 岸恵子  
清水美砂 戸田菜穂  
椎名桔平 小林薫 語  
の黒柳徹子 831433



97/8/4 毎日テレビ 月曜ドラマスペシャル  
「螢の宿」出征に際しハーモニカを遊女に贈る



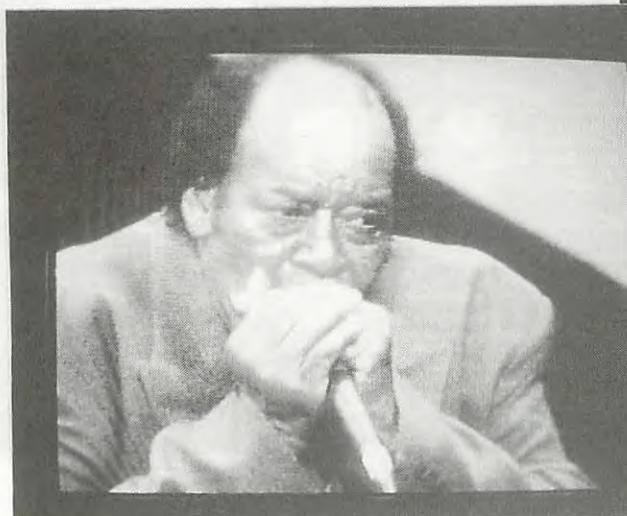
97/8/4 毎日テレビ 月曜ドラマスペシャル  
「螢の宿」より



97/8/4 毎日テレビ 月曜ドラマスペシャル  
「螢の宿」ハーモニカ指導者の名前がクレジット



97/8/18 NHK-TV 「あぐり」より



97/8/24 NHK-BS-TV メンフィス・ブルース・フェスティバル  
ハーモニカではジェームス・コットン等が出演



97/9/15 NHK-TV 「ホリディ日本」敬老の日特集  
平均年齢68歳の札幌ハーモニカアンサンブル



## ホノルルでハーモニカを吹こう！

吉村 則次

電話及びFAX 0722 51-9398

私は、次のようなハワイのホノルルへの懇親演奏旅行を計画しております。

参加者人数が多くなるようであったら、関西ハーモニカ連盟の主催行事とします。

日程が決定していませんので、出欠については現在確実なことは回答しにくいと思いますが、参加予定人数を掴みたいので、「行こうかな」「行ってもいいな」と考えておられるかたは、1月中旬ぐらいまでに私あて電話又はFAX（電話及びFAX 0722 51-9398）をいただきたくお願いします。アンサンブル大歓迎、ハーモニカ教室の生徒さんや家族のかたも結構です。

だいたい的人数を掴んでから、先方及び旅行業者と打ち合わせの上詳細決定いたします。

### ホノルル演奏旅行案

- 内 容    ホノルルで同地の日系人会のハーモニカ愛好者と交歓、演奏会、セミナー  
          ホノルルの観光、買い物
- 時 期    98/9-10月ころ、3泊5日（機中泊があるので、滞在は事実上3日）  
          土日をはなす。
- 日 程
- |     |                        |    |         |         |
|-----|------------------------|----|---------|---------|
| 第1日 | 午後6時 関西空港発ノースウエスト機     | 同日 | 午前7時    | ホノルル着   |
|     | 飛行時間約8時間               |    |         |         |
|     | ホテルにチェックインの後ホノルル観光、買い物 |    | ホノルル泊まり |         |
| 第2日 | 午前と午後、ホノルル観光、夕方懇親会/演奏会 |    |         | ホノルル泊まり |
| 第3日 | 午前ハーモニカセミナー（ホテルで）      |    |         |         |
|     | 午後ホノルル観光、買い物（自由行動）     |    | ホノルル泊まり |         |
| 第4日 | 午前10時ホノルル発ノースウエスト機     |    |         |         |
| 第5日 | 午後2時関西空港着 解散           |    |         |         |

費用推定 200,000円くらい。

人数が多くなれば旅行業者を使うので少し高くなるかも知れません。

その他

ホノルルにホシ氏という、日系人の間でハーモニカとカラオケの指導をしている先生がおられ、そのグループとの交歓演奏となります。生徒は100人くらい。このグループでは、ほとんどの人は日本語が通じます。アンサンブルもあります。

日程が合えば特別顧問の森本恵夫氏も行かれる予定。

演奏会は、コンサートホールやホテルのホールは費用的に無理なので、日系人会の集会所またはそれに類似した会場となる予定。

ホノルルの観光地は、ワイキキ浜辺、美術館、動物園、水族館、ダイヤモンドヘッド、ダウンタウン、真珠湾

ショッピングはワイキキ周辺とアラモアナ・ショッピング・センター等

以 上

## 徳永ハーモニカ・セミナー・イン・信州



徳永ハーモニカ・セミナー・イン・信州は、97/8/15から17日にかけて2泊3日で地上1500メートルの涼しい長野県峰の原高原の、音楽ホール付きペンション「豆の木」を借り切って、22名が参加して行われました。参加者は北海道のかたから米子市のかたまでに互っていました。

アドリブの講義、レッスン、アンサンブルの練習、ピアノトリオをバックにしたの参加者の自由演奏、一般の聴衆を招いての徳永延生の有料ライブ演奏、徳永延生のハーモニカを含む生バンドのダンスパーティ、ビンゴゲーム、西瓜パーティ等盛りだくさんなプログラムでした。



## NHKテレビで伴奏しました！

吉村 則次

ハーモニカでの伴奏の依頼が徳永延生氏から入ったのは、収録(11月14日)の1週間前の11月6日でした。

NHK-TVで、民謡の伴奏にハーモニカを希望しておられるから、ピアノの岩井ゆき子氏、ハーモニカの辻晋哉氏(バスとクロマチック)と私(コード)とで出るとのこと。

場所は大阪狭山市の新しい「さやかホール」。

演奏曲は、大阪市此花区に伝わる正月の歌で「正月とん今頃どこに」と京都民謡の「竹田の子守唄」、民謡及び演歌歌手が3人歌うから、その伴奏とのことで、NHKからは原曲の楽譜が送られてきました。

キーは、前者はEマイナー、後者はCマイナー。

とりあえず、11月10日に徳永ハーモニカ教室に集まって、徳永さんの編曲をピアノの岩井ゆき子さん抜きで練習をしました。

ひょっとすると、前者は歌手が希望しているので半音下げることとなるかも知れない、とのこと。半音下げると、E♭マイナーとなり、フラットが6個もつくもの。私が使おうとしていた簡易コードではそんなのがないし、大きなコードハーモニカを使っても左端から右端に動かなければならなくなるので自信がなく、1音下げてDマイナーならということになりました。しかし、なるべく徳永氏が編曲した楽譜どおりで押そうということになりました。このときは、移動方式の楽譜でハーモニカを持ち替えることができる複音ハーモニカがうらやましくなりました。

収録前日の13日リハーサルの日、リハーサルをしてみると、案の定歌手が1音下げてくれとのこと。コードの場合は、どんなキーになってもコードの位置の動きは同じですから、Gマイナーのところを「ここがCマイナーだ、ここがCマイナーだ」と頭の中にとたたき込んで吹けばいい訳です。幸いバスの辻君は、二つ楽譜を書いていたので、行けることになりました。

さらに悪いことに、収録当日のリハーサルのあと、「竹田の子守唄」の方のキーを、1音上げてCマイナーをDマイナーにしてほしいと歌手から希望がはいりました。辻氏は、オブリガートと間奏をクロマチックで演奏するので、すぐ楽屋に行って譜面を書き直していました。(吉村は、この曲にはもともと参加せず。)

ピアノさんは、さすがプロ、もとの楽譜を見て、それぞれDマイナーで演奏されました。

本日(11/14)現在、12/14日曜日NHK総合TV14:15「どんとこい民謡」でどのように放映されるかはわかりませんが、私にとっては、NHKに出るという最初の経験でした。

放映が、この会報が出る(12/16)前ですから、事前にお知らせできなくて残念でした。

しかし、ハーモニカを伴奏に採用されたNHKさんに感謝感激でした。

なお、歌手は、石原詢子さん、大野実佐子さん、山形くるみさんでした。



## 関西ハーモニカポップス

### 第22回定期演奏会を終えて

村上 浩一

澄み渡る秋晴れの11月8日(土)の午後、第22回定期演奏会が、大阪淀屋橋の朝日生命ホールで開催された。

出足は好調で、開演時刻の2時には360席がほぼ満席となり、開演間もなく補助椅子を用意するほどの盛況であった。

今回の入場者は、関西一円は勿論ながら、遠くケニアからの留学生や、第2部で独唱の上海歌劇団専属歌手、凌(りん)淑青さんの中国のお友達も来場され、さながら国際親善交流の感があった。

また、東京から日本ハーモニカ芸術協会の事務局長岸田慶蔵氏や、元ミヤタバンドの指揮者で作曲者でもある三島氏ご夫妻も会場に見えられ、それに、静岡、広島、岡山からも来場、ハーモニカ教室関係の人々も大勢の顔ぶれが見られた。

演奏会の感想は、特に第2部の凌(りん)さんの独唱がすばらしかったということで、また第3部の吉森さんの独奏が好評であった。

4時過ぎ盛会裡に終演したが、音響関係で吉村さんと、受付の皆さん方に大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

また、ご来場いただいた皆さん方、本当にありがとうございました。

終わりに、私達、今後とも練習に励み、よりよい演奏をしたいと思っておりますので、今後とも叱声、ご鞭撻下さいませよう、よろしく、お願いいたします。



97/11/8 関西ハーモニカポップス第22回定期演奏会  
ゲスト歌手、凌(りん)さん

## 関西ハーモニカ・ポップス

### 8日に定期演奏会

大阪で

による演奏も企画。曲目はタンゴが中心で、全十五曲を披露する。午後一時開演。入場料は千五百円。

関西ハーモニカ・ポップスで開かれる。ス(酒井涼爾会長)の「第一プロケラムは四部構成。二十二回定期演奏会」(全出演者二十二人による合奏)日本ハーモニカ連盟ほか後とマンパルによる独奏・重奏が十一月八日、大阪市、奏という従来の構成に加え、中央区高麗橋の朝日生命ホ、上海新歌劇団専属歌手へ。

問い合わせは関西ハーモニカ・ポップスの酒井さん(電06-942-1038)または白鳥さん(電06-728-7951)へ。

# ハーモニカ 演奏

実施報告 関西ハーモニカポップス

関西ハーモニカポップスは、樫原学院高校からのお招きに応じて、次のプログラムで

ハーモニカ 演奏 を行いました。

主催 樫原学院高等学校 日時 '97.9.11 (木) 11:00 ~ 11:55  
場所 同上 体育館兼講堂 出演 関西ハーモニカポップス (15人)

## プログラム

### 第1部 ハーモニカ 合奏

曲目 ♪フォスター マチング トゥレ ♪文部省唱歌 ♪あそびのうたトゥレ  
♪越天楽〜今様〜黒田節 ♪森のくまさん ♪犬のおまわりさん

### 第2部 ハーモニカ 独奏 独奏者：吉森 正隆

曲目 ♪山寺の和尚さん

### 第3部 ハーモニカ 合奏

曲目 ♪マイウェイ ♪鉄道員 ♪サウダダ ムジックより ♪椿姫のタンゴ  
♪デイズ二名曲パレード

秋の入口と言うにはまだ早い感じもする暑い日でしたが、樫原学院高校の「文化祭」に招かれて、ステージで演奏する機会を頂きました。約600人の職員および高校生の皆さんを前にして、かなり緊張した1時間でした。また同校に併設されている幼稚園の園児約100人が、可愛い顔を最前列に並べていた微笑ましい情景もありました。今年の文化祭には同校のプラスバンドやまたプロ歌手の大川れい子さん（同校卒業生）の歌謡等があるユニークなプログラム構成でした。KHPは番組の最後に主演して、約1時間聞いてもらいました。

曲の選定は一任されましたが、高校の教科書の内容を覚えてもらいまた幼稚園の希望等を聞いて、皆さんに馴染みのある曲目を中心にプログラムを構成しました。PAは準備の不足もあって万全とは言い難いところもありましたが、高校生の皆さんが司会進行を務めかつ最後には指揮者への突撃インタビューも飛び出すという、若々しい雰囲気の中で共に楽しんだ一日でした。

特に【あそびのうた…】や【森の熊さん】それに【犬の…】等には予期せぬ園児の合唱が入ってきて、多少の驚きと同時に共感して貰えているという安心感・喜びがありました。小さな子供さんの素直な反応に、心のふるえるような感動をおぼえました。

樫原は言うまでもなく国のまほろば「日本の故郷」です。素晴らしい森を中心に広がる静かな町並みに続く広い敷地内に、芸術短期大学も併設されているという恵まれた教育環境の中で、伸びやかに育っている高校生の皆さんに文化祭というイベントの中で接して、私たちが自分の青春時代を振り返って見たくなるような、本当に《心洗われる思い》のした日でした。ハツラツとした若人の雰囲気懐かしい思いがしました。  
(文責 大石)



## ハーモニカ 公開演奏

実施報告 関西ハーモニカポップス

関西ハーモニカポップスは、大阪市中央区役所の要請に応じて次のプログラムで  
ハーモニカ ロビー コンサート (公開演奏会) を行いました。

主催 大阪市中央区役所 日時 '97.9.4 (木) 12:10 ~ 12:50  
場所 同上 1F ロビー 出演 関西ハーモニカポップス (15人)

### プログラム

#### 第1部 ハーモニカ 合奏

曲目 ♪大阪ソングス トレ ♪夫婦みち ♪ハバナギラ ♪鉄道員

#### 第2部 ハーモニカ 独奏 独奏者：吉森 正隆

曲目 ♪山寺の和尚さん

#### 第3部 ハーモニカ 合奏

曲目 ♪ばらのソング ♪ 昂 ♪あそびのうたトレ ♪ボギー大佐

住民の連帯感を高める催しが各地で開かれています、「なみはや国体」を控えた大阪府では、各種の行事で一層の盛り上げを図っているようです。そうした企画の一端として9月2～4日にかけて『ランチタイムコンサート』が開催され、その最終日(9/4)に関西ハーモニカポップスが出演しました。

平日の昼休みの時間帯でしたから、聴衆は職員や通行人が主体で約百人ほどでした。会場がロビーであることから、演奏者と聴衆とが膝を接する距離で向かい合った和やかな演奏会でした。PAは宝塚市在住ののプロに来てもらい、キメ細かく調整された音を出すことが出来ました。また遠く西宮からお出で頂いたハーモニカ愛好者の顔も見えて、気分的にもリラックス出来ました。

大阪に縁のある曲には皆さんの共感が感じられて、楽しい演奏でした。また異国情緒の漂う【ハバナギラ】やギターソロを含む【鉄道員】では独特のムードが醸されましたが、吉森さんがグリッサトハーモニカを駆使して演奏した【山寺の和尚さん】には少なからぬ驚きがあったようでした。第3部はバリエーション豊かな構成となりましたが、【昂】【あそびのうた…】などおなじみの曲が出て再び一体感が生まれたあと【ボギー大佐】の行進曲で勢いよく終了しました。

昼休みの時間内に終了することが出来るかと多少の危惧もあったものの、実に見事に予定時刻に無事到着する事が出来ました。

このようなことがハーモニカファンを増やすことに役立てば、本当に嬉しいことです。これからも積極的に協力していきたいと考えています。(文責 大石)



### NO. 1821

〈バリトン・ハーモニカ〉

通常のC調スケールに比較して、1オクターブ音が低くなっています。複音ハーモニカタイプの中では、極低音の響きで音の重厚さが魅力的です。アンサンブルの中で活用されますと、音の厚みが出て一層引き立ちます。

- 複音21穴 ●木製本体
- 長さ162%×高さ31%×厚さ24% 135g
- C調、C<sup>#</sup>調の二種類 ●標準価格/7,000円

## 貸すな、借りるな、ハーモニカ ——入江章次さんへ——

### トシボ楽器製作所

御連盟の会報97/10月号p31「ハーモニカは衛生的か」のご指摘及びご提案ありがとうございました。

当社では、ハーモニカは試し吹きをさせないように、関係者に常にお願ひしております。

最近、メーカー側から要請するまでもなく、世論はもとより、お客様も、小売店も、衛生への関心が高まって来ているので、従来に比べるとかなり良くなって来ていると思います。

この問題では、当社では数年前に、思い切って箱に封印をして出荷したことがありますが、色々な事情で、現在は封印をしていません。

口に接する楽器を製造販売する現場の従業員に対し特別の健康診断をせよという法律はありませんが、当社は、戦前よりハーモニカ整調者の健康管理は重視しています。もちろん一般従業員も年2回の健康診断はしています。

ハーモニカは、紫外線殺菌をした後に箱詰めしています。

ハーモニカは、口に作る楽器ですから、個人的なもので、人には貸したりするものでないことも常識です。

でも、親しい人にちょっと吹かせてくれと言われて困ることがあると思います。どうしてもの場合でも、少なくともカバーと口元は、アルコールで拭いてから渡し、拭いてから返すようにしてください。

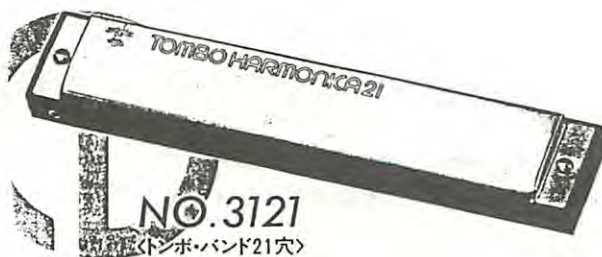
最近、非常識な人は少なくなりました。貸すな・・・と言うより、借りないことにしましょう・・・です。

ハーモニカ自体は、吹き終わったら綺麗に吹いて乾燥させれば、細菌の繁殖はなく、むしろ金属の持つ殺菌作用が働きます。しかし食べ粕などが付着しては良くないので（粕が少しでもリードに触れば鳴らなくなるので、ハーモニカを大切に扱う上でも）吹く前には少なくともウガイ、できれば菌を磨くことをしてもらいたいものです。

ハーモニカの愛好者の方々や指導者は、ハーモニカの基本として、このことを生徒さん等にも指摘してください。外国の奏者が、コンサートの前に洗面所に行って口を漱いでいるのをよく見ます。

ハーモニカのプレートのカエリの問題ですが、ハーモニカの口元やプレートの角のカエリ（バリ）を除去する工程があります。この工程が疎かになると、口元を傷つける恐れがあります。正直言って過去においてこのクレームを受けたことがあります。この点に関してはあらためて各工程の確認、検査の徹底を行っています。

以上



## 若い人に期待

### 堺市教育文化センター（ソフィア堺）の ハーモニカ講座

吉村 則次

前号でお知らせしましたとおり、堺市教育文化センター主催のハーモニカ講座が開始されました。

募集も内容も、従来のハーモニカ教室にない形でありますので、始まったばかりですが、何かと参考になるとと思いますので、概要をお知らせします。

#### 市が直接主催、定員4倍の応募

今回の講座は、堺市が直接主催しております。したがって、募集は、80万都市の堺市全家庭に配られる「広報さかい」に掲載して行われました。そのため、応募者数は、80名以上になりました。市民1万人に対し1人の割合です。

（市が主催する行事なので、対象者は市内居住、市内勤務、市内通学者に限られました。また、16歳以下の学生も除外されました。）

80名以上の応募に対し、定員が20名であったので、公正な抽選により4分の1に絞られました。

市が直接かかわることにより、広範囲に募集が行うことができ、愛好者の「掘り起こし」ができることが分かりました。

なお、市が主催のため、受講料は無料で、楽器とテキストのみ受講者本人の負担となります。また、会場は2重壁の防音装置付、ピアノ、ビデオ、PA（拡声装置）、楽譜スタンド等すべて完備のミュージック・ルームで行われております。

#### 若年が3分の1

受講者の年齢構成は、10歳台1人、20歳台5人、と一般のハーモニカ教室にない、若年層が入りました。夕方7時から9時までの時間に行わせてくれたということは、非常にありがたいことでした。昼実施の場合は、高齢者と家庭の主婦になり勝ちです。

30歳台と40歳台は当然のこととして少なく、50歳台3人、60歳台7人です。（定員20名でしたが、直前の辞退が2名あり、18名スタートとなりました。）

男女別では、男6人女12人です。

#### 数字譜を知らない！

（小学校で習わされたハーモニカ以外の）ハーモニカの経験者は少なく、したがって数字譜が理解できる人は、なんと18名中2名のみです。

これに対し五線紙の楽譜が読める人5名、まあまあ読める人7名、合計18名、したがって、この講座では五線紙の楽譜を使用して行うこととしました。

また使用楽器の方向として、将来クロマチックに移行する方針で、12穴単音ハーモニカを使用することとしました。（ホーナー及びファン製。日本製はない。12穴クロマチック



クからスライド（半音）を取り去ったものと同じ音階）

当初からクロマチック使用が望ましいと考えましたが、市の事業（社会教育、生涯学習）として行うので、最初から1万円を超える楽器を使用することはまかりならないということで、安価な12穴単音ハーモニカでスタートせざるを得ず、ある程度習熟した後、途中でクロマチックに切り替えることとしました。

当然のこととして、複音と異なり「固定ド」方式（ハーモニカを替えることなく、すべてのキーをCとC#のみで演奏する）となります。またテキストは、複音クロマチック併用の当連盟常任顧問の小林忠夫氏の「たのしいハーモニカ」を使用しております。

## ハーモニカ拡大に期待する

開講当日、講座の方向を決めるため、受講者にアンケートをとりました。

知っているハーモニカ奏者として、トゥーツ・シールマンス、岩崎重昭、森本恵夫、和谷泰扶、徳永延生、ジェリー・ムラッド、ラリー・アドラー、吉森正隆等の名前を挙げ、知っているものにマルをさせましたが、なんと崎元譲にマルをしたものがたった一人（河内長野市の西村由紀江コンサート（共演、崎元譲）を聞いた人か？）ただで、あとは全然知らないというものでした。

ハーモニカを習いたいとは思っていても、ただそれだけで、ハーモニカの世界とのかかわりもなく、演奏会に行くわけでもなく、ハーモニカのCDを聞いているわけでもない、という人ばかりで、意外も意外でした。本当に真の意味での「埋もれた」愛好者です。

こういうかたがた（若い人もいる）が、これからハーモニカの世界にかかわられ、当連盟にも加入できれば、また違った世界ができあがるのではないかと思います。

なお、申し込んで抽選に落ちた60名あまりのかたについては、私としては、せっかくハーモニカを習おうとしていたのに落ちてしまって、非常に気の毒で、ハーモニカ拡大発展を願う私としては、何とかハーモニカコンサート、ハーモニカ教室等の情報の提供という面で救済したいと思い、住所氏名の提供を申し入れましたが、公的なものがやることであるので、絶対に漏らせないということで拒否されました。また、来期の講座にこれら落ちたかたを優先して抽選に上げてもらえないかと申し入れましたが、これもだめでした。

## 公的機関のご援助を

すでに公民館等のご理解をいただき、各地で教室が開かれておりますが、さらに会員におかれては、各公共機関にも働きかけられてはいかがかと思えます。

また、当連盟においても、これらに即対応できるようにするために、講師として派遣できるもののリスト、現在実施中の教室の最近のリスト等を整備しておく必要があると考えられます。



## ハーモニカの音色は何色？

入江章次

ハーモニカの音色はいったい何色だろう？ 複音ハーモニカは大ざっぱに言って綺麗か、汚いかの違いしかない。ブルースハーブも舞台で入り乱れて吹いているのを聴いても音色の違いはあまり無い。クロマチックハーモニカは、そんなとき吹く人によって音色がみんな違うように様に思う。

新聞でよくクロマチックハーモニカの通信教育の広告が載っているが、殆どの人が音が出なかったり、すぐレバーが動かなくなってそのままゆう人が非常に多い。少なくとも半数以上の人はずうだろう。またクロマチックハーモニカは初心者か吹くと皆同じに聴こえてしまうが、上手な人が吹くと皆んな違った音色に感じる不思議な楽器だ。音楽性からくるところが大きいのかも知れない。

私は演奏会が一番前の真中の席がとれないと行かないことにしている。それは私がオーディオ狂で、音楽狂（変な言い方だが）のせいかも知れない。とにかく生の音が大好き、録音した音（CD等）も生々しいものが好きで、無響室録音CDを集めたり、CDのレーベルもテラークが大好きだ。

徳永延生先生のレッスンを受けながら、耳元で聴く生の音は、なんと美しい音だろうかといつも思う。演奏会やCDの音もすばらしいが、とうてい生の比ではない。本年10月ドイツのトロシンゲンで行なわれた世界ハーモニカコンテストの優勝者、2位入賞者、6位入賞者の祝賞会で、コンテストで吹いた曲を演奏されたが、何とだんだん先生の音色に似てきたように思ったが、似るのは当然かも知れない。

昨年、宇治で行なわれたハーモニカ祭りでの、徳永先生とクロードガーデンのハーモニカ・バトルは手に汗握る大熱演で、とても素晴らしかった。ハーモニカの音色もはっきり競演していたように思う。

その時、クロードガーデンのクロマチックハーモニカを、ホールの通路だったが、3人で1mぐらいのすぐそばで聴くことが出来た。バッハその他いろんな曲を吹いてくれたが、素晴らしいとしか言い様がない。彼のハーモニカは、7色の音色とも言われているが正にそのとおりだと思った。クラシック、ジャズ、ポピュラー、何でも、彼の音楽には魂が入っている（プロは皆んなそうなのだが）。そして何を聴いても、ハーモニカのために作られた曲ではないか、とさえ思えてくる。

ハモ祭りの後小さなホールでの彼の演奏会が、またすばらしかった。クラシックばかりで彼の音楽性が余すところなく伝わってきた。2、3曲演奏しながら司会をされた方が、野球の日本シリーズの進行状況を何度もしつこく発表された（失礼だ）が、客席の反応はなかった。そのくらい皆んなクロードガーデンの音楽に酔っていた。彼は、ジャズもクラシックも両方ともすばらしい。最初にジャズを聴いた人は、クラシックを演奏するとは思わないだろうし、逆の場合も同じだろう。また彼は、ジャズもクラシックも同じくらい好きなのだろう、私がそうだからそう思うのかも知れないが。彼に日本酒を飲んでる時におしゃくをすると、ちゃんと飲み干して受けてくれる。ますます彼のハーモニカの音色が脳裏に焼き付いてくる。ハーモニキヤットにはお酒が似合うと思うのは私だけだろうか。特に秋は…… Fine.

## レターボックス 会員等からのお便り

97-9-26

### 中部ハーモニカ連盟会報より

- 9/21 ビネタの講習会、理事会をそれぞれ開催  
11/9 田川昌生リサイタル、ゲスト GGIV、賛助出演 レインボーカルテット  
中村小劇場  
12/14 リード楽器の珍しいコレクションの展示とハーモニカクリニック  
米野コミュニティーセンター、講師 高橋正彦、征矢野晃夫  
98/1/25 連盟定期演奏会、南文化小劇場  
98/2/7 日本ハーモニカ芸術協会中部支部連合会主催、岩崎重昭演奏会  
98/2/8 アンデパンダン演奏会 いずれも天白文化小劇場

連盟会員数 委嘱役員7、理事18、幹事4、正会員35、グループ10（会員91）  
合計155名

### 中部ハーモニカ連盟

97-11-2

### 会員番号を

関西ハーモニカ連盟も会員が約200名となり、そろそろ会員番号をつける時期にあるのではないのでしょうか。

- ①入会順の通し番号3桁
  - ②アイウエオを示す1桁、通し番号2桁
  - ③地域を示す1桁、通し番号2桁
- などいかがでしょうか。

横山 賢一（高槻市）

### 結成5周年記念ファーストアルバム

#### 「小さなオーケストラ～京都ハーモニカクワ ルテット」を製作

この度、私たち京都ハーモニカクワルテットは、1992年に結成以来、一人でも多くの方にハーモニカ音楽の素晴らしさを伝えたく演奏活動を行ってきましたが、お陰様で今年で結成5周年を迎える事ができました。今日までこうして続けることができたのも、皆様のお蔭と深く感謝しております。これまでの感謝の気持ちとこれからの決意を胸に、11月に大阪・京都の2会場で『京都ハーモニカクワルテット結成5周年記念コンサート』を行う事になりました。今までに馴染みのある曲や思いでの曲の他に新曲も取り入れて、練習に励んでおりますので、ご来場くださいましたら幸いに存じます。

また、5月に少しお知らせさせて頂きました私達の初のCD『小さなオーケストラ～京都ハーモニカクワルテット』が、10月25日より発売開始となりました。CDの製作にあたっては、多くの方々にご支援、ご協力、又たくさんの励ましのお言葉を頂き本当にありがとうございました。

少しでもハーモニカの魅力を知って頂きたく親しみやすい曲を中心に収録していますので、是非一度お聴き頂ければと思います。

今後もより一層努力してまいりますので、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

京都ハーモニカクワルテット

**遊 宏 任** 口琴協奏曲 HK 8.880069 日本製

オランダの友人から送られてきたもので、その人の息子がマレーシアかシンガポールで見つけたとのこと。

日本製で、©1990 BMG Pacific Ltd.とあるから、新しいものではなく、少し前のものである。収録曲は、「梁祝」口琴協奏曲、春節序曲、海濱音詩、思郷曲、抒情曲、二泉映月、天山之歌、すべて中国の曲である。

この「梁祝」というのは、「梁山伯與祝英台」というバイオリン協奏曲で、西崎嵩子のバイオリン、群馬交響楽団伴奏のCDが市中に出ているので聞くことができる。

中国では、人気の高い曲らしく、ハーモニカで吹く人も多いように思う。そういえばホンコンのキングス・クインテットもこれを演奏していた。

**BRENDAN POWER**

The Music from Riverdance, Scotland Greentrax Recording CDTRAX136

大阪のダブリーナズにおけるブレンダン・パワー演奏会で購入

**BRENDAN POWER**

Blow In, Ireland Hummingbird Records HBCD0008

大阪のダブリーナズにおけるブレンダン・パワー演奏会で購入

**ドイツの世界ハーモニカフェスティバル及び  
ドイツ、スイスの楽器店で購入したCD等**

世界ハーモニカ大会の楽しみの大きな一つは、世界中からの珍しいハーモニカのCDや楽譜を買えることです。ご存じのとおりハーモニカのCDの多くはメジャーなレーベルから発行されるものではないので、一般の店頭には並びません。また、各地の楽器店や楽譜屋に入ってみるのも楽しみです。

今回も、ハーモニカ大会の出席と、前後のドイツ、スイスの旅行で、非常に多くのハーモニカのCDを購入できました。またハーモニカのトリオ楽譜も購入できました。

多いので演奏者とタイトルと副題、番号のみを表示します。

**TOOTS THIELEMANS** トーツ・シールマンズ

"Toots" in Berlin - Alle Produktionen im Sender Freies Berlin 1960-1990

AK-Records AK 097, 113/114 2枚組

**TOOTS THIELEMANS** トーツ・シールマンズ

Dolphin Tears, Belgium Columbia Sony COL660174-1

**CON BRIO Trio** コンブリオ ポーランドの有名なトリオ

Mundharmonika Trio CON BRIO Mit Orchester, SUIISA DHB500

**CON BRIO Trio** コンブリオ ポーランドの有名なトリオ

CON BRIO Trio Harmonijek ustnych, Radio Opole MCK001

**JENS BUNGE** イェンス・ブンゲ ドイツのジャズ奏者、今回のコンテストの審査員

With All My Heart, Germany YYP MUSIC 3060 CD

**JENS BUNGE** イェンス・ブンゲ ドイツのジャズ奏者、今回のコンテストの審査員

It's A Beautiful World!, AONS Records 200 200

**D' Muulorgeler vo Kriens** スイスのクリエンス・カルテット

20 Jahr (gust Luft)!, Switzerland Activ Records, PCD7366

**D' Muulorgeler von Zurisee** スイスのチューリッヒ湖カルテット

Mundharmonika Gala, Switzerland CD25377

**KING'S HARMONICA QUINTET** (英皇口琴五重奏) ホンコン キングス・クインテット

Blowing up a real Harmonica Storm, Hongkong KHQ CD003

**JAMES HUGHES** ジェームス・ヒューズ イギリスのクラシック奏者

James Hughes plays James Moody, Volume One

England Grosvenor Studios CDGRS1291

**ORCHESTER HOHNERKLING** トロシゲンのホーナーハーモニカオーケストラ

Skyline, Special Edidion, Germany Hohner HR08.099 286

**LARS-LUIS LINEK** ラース・ルイス・リネック

Harmonica Trio, Germany Selected Sound 5197

**WALT MILLER** ウォルト・ミラー

Let's Do It, Volume 1, Switzerland Violet Records VR CD 001/93 DDD

**LARRY ADLER** ラリー・アドラー

Rhapsody In Blue, England Empress Recording Co., EMPRESS RAJCD835

**DAMIEN** 今回のコンテスト、ジャズ部門の第3位の人、ダミエン・マスタゾン

Intercambio, OWR-9034

## カラオケ

「ザ・フルート」別冊、初心者用マイナスイワンCDシリーズI

ハープ伴奏によるソロ・フルート名曲特集 アルツ出版株式会社、2800円

収録曲目は、バッハのシチリアーノ、ヘンデルのラルゴ、グルックの精霊の踊り、グノーのアヴェ・マリア、ビゼーのメヌエット（アルルの女より）、サンサーンスの白鳥、マスネのタイスの瞑想曲である。これらの曲は、ピアノ伴奏のカラオケは今まで出ているが、ハープ伴奏は初めてである。模範演奏も入っている。

なお、このカラオケはA=443で演奏されており、ピッチの調整が不要なのうれしい。（ホーナーのクロマチックはA=443である。）

CD伴奏付「結婚式・パーティーのための珠玉のフルート小品集

ドレミ楽譜出版社 2200円

以前出た「結婚式・パーティーのためのフルート小品集」（クラシック編）と名前が似ているが、同じ出版社で同じ編者（山下兼司）であるが、曲目は異なる。

収録曲は、シューベルトのアベ・マリア、G線上のアリア、ドビュッシー夢、シモネッティのマドリガル、精霊の踊り、チャイコフスキーの舟歌、ビゼーのメヌエット、ハイドンのセレナード、バッハのシチリアーノ、母の教え給いし歌、愛のあいさつ、主よ人の望みの喜びよ、フォーレのシシリエンヌ、メンデルスゾーン春の歌、ドルドラのセレナード、チャイコフスキー花のワルツ、である。

上に挙げたハープ伴奏カラオケと曲目は似かよるが、この種のもの、人気のある、みんながよく知っている曲に集中するのでやむを得ない。

フルートレパートリーV o 1. 2（伴奏音源FD付）ヤマハ・ミュージック・メディア・コーポレーション発行、2500円

世の中に多くの「SMF、XG」規格のフロッピー・ディスクに入れられた音楽が売られているが、これらは、メロディーも入っているが、プレー・バックするときにチャンネル毎に入れたり消したり出来るから、カラオケとして十分に役に立つ。

SMF、XG規格のディスクがかけられる装置（一般のパソコンと音源装置か、SMF、XG専用のプレーヤー）が必要であるが、これがあるとカラオケの範囲が大きく広がる。また、この種のコンピューター用のものは、スピードもキーもピッチも自由に変えられるという大きなメリットがある。

収録曲は、シモネッティのマドリガル、白鳥、G線上のアリア、フォーレのシシリエンヌ、ビゼーのメヌエット、等例によってダブる曲もあるが、ふたりの天使やマーラーのもの、モーツァルトのもの、ヒバルディのものなども入っている。

LET'S PLAY CLASSIC AND FOLK

Germany Noetzel Edition OHN-CD001 スイスの楽器店で購入、クラシックの小品集

## MMO社カラオケ

CDミュージカル、レ・ミゼラブル

CDミュージカル、オペラ座の怪人

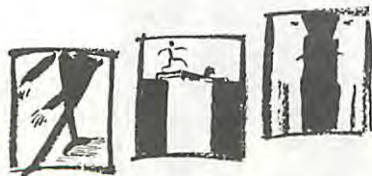
CDフルートとギターの二重奏

CDオーボエ小品集

アメリカのカラオケのしにせ、MMO社（ミュージック・マイナスイワン＝カラオケ）のもの。アメリカの販売業者から購入。国内の大手のレコード屋・楽器屋で置いているところもあります。

古いLP時代のものの録音の複製もあり、演奏者も音質もあんまりいいものではないが、協奏曲など他社にはない本格的なものも多い。

MMO社及びジャズのジェイミー・イーバースールド社（CD75枚約800曲、ジャズでは世界最大）のカラオケについては、取り寄せることができます。1枚約4000円程度。楽器屋に置いている場合もありますが、店頭にない分については曲名をお知らせください。探してみます。



## 十河陽一の編曲が面白い！

— 京都ハーモニカクワルテットCDを  
聞いて —

吉村 則次

当連盟会員である京都ハーモニカクワルテットの、10月に発売されたCDを聞かせていただいた。

ご存じのとおり、93年（ドイツ）95年（横浜）と世界ハーモニカコンテストのカルテットの部門で2回連続優勝している、京都在住の男2人女2人のグループで、楽しい演奏には定評がある。

同封のチラシに記載のとおり、楽しい曲を23曲も入れられており、日本のうた、世界のうたも取り入れられている。

解説に使用した楽器が載せられているが、通常のクロマチック2本、コード、バスという構成だけではなく、クロマチック3本のものや、小林忠夫氏編曲の日本の曲で和谷篤樹氏の複音ハーモニカを入れたものまであり、楽器も多彩で退屈させない。

特に編曲として面白いと感じたのは、11曲にわたる十河陽一氏の編曲のものである。私が好きなのは、同氏編曲の「日本の四季メドレー」。

同氏は、このクワルテットのクロマチック奏者の和谷篤樹氏の兄である、ドイツ在住のハーモニカ奏者和谷泰扶氏（当連盟特別顧問）と親しくしておられるかたのようで、同氏のためにハーモニカ作品を書いたりされている。ハーモニカに理解を示されておられるようで、こんなものが印刷されて発行されればまた面白いと思うが。

1曲だけでも、自分でテープ録音するのが大変であることは、みんな感じておられると思うが、このように多くのものを完全に録音してCDにして解説をつけて発売するということは、それこそ並大抵のことではなかったことだったことと思う。

まずはお祝いを申し上げ、関西あるいは日本の誇りのこのグループの演奏を聞かれるようお勧めしたい。

京都ハーモニカクワルテット結成5周年記念ファーストアルバム

小さなオーケストラ



## 小さなオーケストラ

### 京都ハーモニカクワルテット結成5周年 ファーストアルバム発売

当連盟会員である京都ハーモニカクワルテット（構成員4名全員が当連盟会員）が、最初のCDをリリースしました。定価2500円 送料270円

収録曲は、剣の舞、ベートーベンのメヌエット、道化師のギャロップ、ショパンのプレリュード・イ長調、G線上のアリア、春の歌、アンネンポルカ、埴生の宿、旅愁、赤とんぼ、芭蕉布、日本の四季メドレー、草原情歌、アリラン、草競馬、なつかしきケンタッキーの我が家、私の太陽、森へ行きましょう、ロンドンデリーの歌、ヴァルセンティエーノ、半音階ポルカ、ジャニーネ、ブルガリアン・ウエディング・ダンスの23曲  
申し込み

600 京都市下京区七条通西洞院西入る 和谷篤樹 075 371-7690 FAX 075 371-8752  
610-11京都市西京区大原野上里鳥見町14-20 田中祥雄(連盟事務局長)075 331-1033

### 第13回岡山ハーモニカクラブ定期演奏会 を聴いて

よこ山けん一（高槻市）

所用があって岡山に行った折り、運良く10月5日に開催された、「第13回岡山ハーモニカクラブ定期演奏会」を聴かせていただくことができました。近県からの応援演奏もありましたが、会員十数名のクラブのことゆえ、プログラムのにはもりたりなさがありませんでした。しかし、この日に向けて練習をしてきた様子がうかがえ、意気込みが感じられました。

特別出演の斎藤壽孝、全日本ハーモニカ連盟理事長の、日本民謡用に調律されたペンタトニックによる「草津節」、「こきりこ節」、「箱根山」の演奏は、日本民謡の特徴がうまく表現されたすばらしい演奏でした。仲村真、当関西ハーモニカ連盟理事長による「すきま風」、「高原列車は行く」は、1本のハーモニカ（実際は2本持っていますが）でこれだけの音楽が演奏できることを示し、お客さんに感銘を与えました。

驚かされたのは、少ない会員数にもかかわらず、300名位の会場が満員になり、パイプ椅子を追加するほどの観客動員力があったことです。会場の雰囲気からもおおぜいのファンが毎年の演奏会を楽しみにしている様子がうけとられ、岡山ハーモニカクラブは、これからも発展するにちかぎいないと感じられました。

最後に、「旅愁」を合奏、合唱して閉幕となりました。



## 京田辺市最初のハーモニカコンサート 小林忠夫先生、市民を魅了

保理江 元子

去る11月9日、京都府京田辺市の北部住民センターに小林忠夫先生が来て下さいました。

私一人が宇治ハーモニカスクールで楽しんでいるのは悪い気がし、他の人にもハーモニカの良さを、楽しさを是非わかってもらいたいなぁと思っていた矢先、小林先生からお話がありまして、早速わが合唱団団長に相談、ハーモニカコンサート実行委員会を結成、委員には団長、大住シンフォニックバンド（プラスバンド、府代表サークル）の常任指揮者達の名を連ね、市、市教育委員会、市文化協会、市音楽連盟の後援依頼を申請、大先生を迎えるにふさわしい態勢を作るべく、自分では必死でした。

当日、大手術の後にもかかわらず、先生御自身でハーモニカの解説や演奏を、間に休憩を入れずに、予定より1時間オーバーで約2時間びっしりやって下さいました。

童謡あり、なつメロあり、シャンソンあり、クラシックあり、殊にクラシックでは、地元の人と一緒にとの先生の御厚意で、混声合唱団の元ピアニストで宇治音楽連盟元会長夫人のピアノ伴奏で2曲、これには皆驚いておりました。

「客席まで迫力、熱気が伝わって来た」との意見も数件ある位、先生の演奏はすごいものでした。お元気になられて本当によかったと思いました。

アンケートの結果「ハーモニカを今一度見直ししやってみよう」とか「やってみよう」とかの意見もあり、中でもハーモニカ大好きのおじさんが見つかったことは、大きな収穫でした。

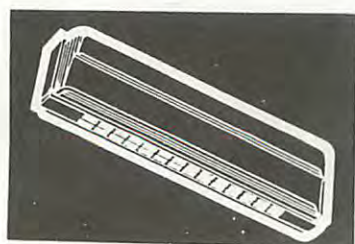
この度のリサイタルは、小林先生によるハーモニカの普及が目的でしたので、徒労に終わらないようにするのが、私に残された課題と思います。場内が、もしガラガラだったらどうしようと心配しておりましたが、音楽連盟、市混声合唱団、少年少女合唱団の方々のお手伝いで175の席が満席となりました。

連盟の方々も遠くからお越し下さいまして、本当にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

小林先生、本当にお疲れさまでございました。身に余る光栄でございました。

飛田先生にも随分お世話になりました。ありがとうございました。

ただうれしくて・・・涙・涙・涙・・・。





## ハーモニカを感じさせない

### ハーモニカコンサート

——97/11/16 京都ハーモニカクワルテットコンサート——

吉村 則次

京都ハーモニカクワルテットが、結成5周年を記念して、97/11/16新大阪の「音楽の友ホール」でコンサートを開いた。

静かな、グリーグのペール・ギュントからの「朝」で始まった。クロマチック3本とバスによる演奏で、2ndパートのハーモニーが美しい。出だしの曲としていい選曲であったと思う。

マイクロホンなしの、残響のいい、新しい小ホールであった。

続いて、モーツァルトの「グラス・ハーモニカのためのアダージョ」。全員クロマチックに持ち替えての演奏である。4本とも「スーパー64X」に揃えられたのは、見かけの統一というより、音質を統一させようという意図だろう。ここに、例えば音の大きいプラチックカバーの「CX-12」などが入ってくると、バランスが崩れて聞けたものではなくなる。

また、12穴ではなく、一面扱いにくい16穴が使われたのは、後の方の曲で低音を必要としたからであろう。

私は、ハーモニカコンサートのときは、当連盟の編集局長という役割もあるので、皆さんに広くお知らせしハーモニカの拡大発展を図るため、いつも写真を撮らせていただくのだが、今日のコンサートだけは、その雰囲気ではなかった。自分自身、彼らの音楽に聞き入り、写真を撮る気持ちのゆとりがなかっただけでなく、身動きすることさえ近くのかたに迷惑をかけることを恐れた。

司会もなく、曲の解説もない、純粋なコンサートに仕上げられていた。

曲名は、プログラムを見ればわかったし、1~2曲を除けば、私にとってはプログラムがなくてもほとんどはわかるという、ポピュラーなものであった。

望むべくは、プログラムに編曲者名を入れてほしかった。聴衆もそれを知りたかったし、編曲者に対する礼儀でもあろうかと思われる。

小林忠夫氏のみならず、当日のプログラムのいくつかの曲の編曲者である十河陽一氏も聴衆の中におられたのに、多くのかたは知らないままであった。ハーモニカのために素晴らしい編曲をされたのだから、ステージに上げて聴衆に紹介もしてほしかったと思う。

エネスコの「ルーマニア狂想曲」は、特に好きだった。2本のクロマチックの掛け合いが素晴らしかった。あとでわかったことだが小林忠夫氏の編曲と聞く。

この曲は、今回リリースされたCDに入っていないのが残念であった。

リリースされたばかりのCD（別記事参照）を聞いて間もなかったが、やはり生(ま)はいいな、と感じた。

どんなに高価なCDプレーヤーとスピーカーを持って来ても、目の前の演奏には、かないっこない。生の音の良さは当然だが、迫力、緊迫感、楽しさ等が伝わってくる。

ここまで来るのにいろいろ苦労があっただろうし、演奏中でさえも心配事が気になったりもしたと思うが、よく集中してやられたことと思う。

CDとともに、今回のコンサートにも「小さなオーケストラ」と副題が付いていたが、そのとおりで、ハーモニカのコンサートであることを忘れて聞き入ってしまった。

関西に、このような素晴らしい演奏グループがあることを誇りに思う。

## 繰り返しと想像——暗譜の方法

吉村 則次

森本恵夫さんが、本誌96/7月号で暗譜の方法を、2小節ずつ、次に4小節、、、と述べられている。

私も、効率的な、ということは即ち時間をかけずに、本番でも間違いをしないように、例え間違ってもごまかせるように、暗譜できるかということ、考えております。

### ① 1000回練習

森本恵夫さんが1000回練習ということを他のハーモニカ雑誌で述べられておられましたが、これは当然のことで、究極的には繰り返し繰り返し練習して暗譜せざるを得ない、ということでしょう。練習をせずに、楽譜を目で見るだけで、暗譜する方法はないと思います。

1000回練習すると、ありがたいことに、身体（息と手）が自然に覚えてくれて、たいていは考えなくても、演奏できるようになります。

1000回というと、1日10回として100日、すなわち、3カ月と10日です。できないことはありません。

森本恵夫さんの言われる1000回練習は、うわべだけの努力目標でも誇張でもなく、本当のことだと思います。1000回でも足りないとは思っています。アマチュアは1000回練習しなければステージに立つべきではないとさえも思います。

### ② 楽譜から早く離れる

そうは言っても、できれば1000回も練習せずに、なるべく早く暗譜したいわけですが、1000回目までずっと楽譜を見て練習しては、暗譜が遅くなります。

そこで、ある程度できるようになったら、なるべく早い段階で、楽譜から離れて、頭で考えて、次はどこ（音階又は穴）へ行くのだったかな、何の音だったかな、と考えて練習します。家で一人で練習する段階では、間違えようが、とちろうが、恥ずかしいことはありません。

私は、クロマチックですから五線紙の楽譜を使います。したがって、楽譜を「絵」としてとらえ、頭の中で楽譜を描きながら練習します。

### ③ 楽譜の一部分を隠して練習する

フレーズ（一つのメロディの流れ）は、たいていの場合4小節または8小節です。

ジャズの楽譜は、1行4小節で書かれていることが多く、私は楽譜から早く離れるために、ある程度練習したあとは、第1段階として左端だけを少し見えるようにして、あとは隠して練習します。（自分で書き直すときは、必ず1行4小節か8小節に書きます。）

### ④ 次の音ないしはフレーズを想像しながら練習する

楽譜から離れる、楽譜を隠す、ということは、自分でフレーズを思い出さなければならぬわけで、こうすることにより、暗譜は抜群に早くなります。

なお、演奏する音楽は、口でも歌える（ハミング）ようにしなければなりません。

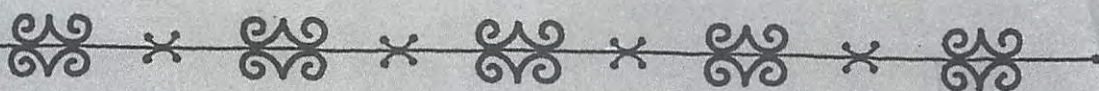
### ⑤むずかしい部分に集中する

練習を毎回始めから終わりまで通してやっていると、時間のむだになります。曲の中で、どうしてもできない部分、暗譜しにくい部分がありますので、その部分を集中して練習するようにしています。同じことを1時間も続けておれば、なんとかなるようになります。

### ⑥音を聞いてまねる

楽譜を持たずに、音楽をMDやCDで聞いてそれと同じことをハーモニカで演奏することも望ましいことだと思います。

こうするには、頭の中で楽譜を描かざるを得なくなります。自然に楽譜またはハーモニカの動き（穴の場所）が頭の中に入ります。



ついに200名に到達！

97-11-6現在

組織部長

#### 新入会（入会日順）

棚橋 隆弘 571 門真市千石東町25-9 0720 82-7470

（以上は、97/10月号追加版でお知らせ済み。）

滝沢 博俊 569 高槻市宮野町9-31-204 0726 21-1520

これで会員は200名となりました。

木谷 悦子 569 高槻市奥天神町1-28-20 0726 83-2187

辻 晋哉 546 大阪市東住吉区公園南矢田4-16-12/モリアールタウンA-202 050 439-2049

#### 会員名訂正

97/10月号記載の新入会会員 宮田哲夫は安田哲夫の間違いでした。訂正します。

#### 会員名変更

旧名称 奥野 隆司 新名称 山水 隆丞 電話 078 221-0509

97/10月号追加版でお知らせ済み。

新しい□□□-□□□□をお知らせください。

98/2/2から日本の郵便番号が全国7けたになります。すでに各家庭には郵便局から通知が行っていると思いますので、それを「総会招集通知」の回答はがきに記入して、必ずご返送ください。それがないと、4月号以降の会報の宛て先が旧の3けたの郵便番号のままで、行かざるを得ないこととなります。



H	R	O	I	A
A	M	N	C	

関西八一モ二力連盟